

# スノーミックスフラワーを使った 花壇作り&ガーデニングに 使いたいお奨めの花壇苗

## 1 はじめに

花を作って楽しむ場合、種子を購入するか、苗を購入するか、とても悩むところです。また一年草にするか、宿根草にするかも大問題です。一般的に、種子は苗より安く、一年草は宿根草より安い傾向があります。また一年草は播種から数ヶ月で開花が終了し、株が枯れてしまうのに対し、宿根草は播種後数年間は開花を楽しむことができます。直ぐにでも花を楽しみたい場合は苗を購入しますが、播種から開花まで、花を育てる作業を楽しみたい場合は種子を購入します。花壇に使う草花を選ぶための参考となればと考え、スノーミックスフラワーとお奨めの花壇苗をご紹介します。

## 2 スノーミックスフラワーを使った花壇作り

### 1) スノーミックスフラワーとは

「ミックスフラワー (写真1)」は、種子を直播きする(育苗せずに土に直接播種する)だけで、簡単に花が咲く十数種の草花の種子を、最も理想的な混播割合でミックスしたものです。痩せ地や粗放的な管理でも美しい花を咲かせることができ、季節によって次々と花の種類が移り変わるお花畑の景観を



写真1 ミックスフラワー

楽しむことができます。弊社では、混播割合や配色バランスを考えた独自のブレンドとして、「スノーミックスフラワー」という名称で販売しております。

### 2) 栽培地域の違いによる使い分け (表1)

ミックスフラワーの播種適期は、地域や気候によって異なります。

北海道や本州の高冷地など、冬期に積雪する地域では、6月中旬までが播種適期となります。このため寒冷地向けのスノーミックスフラワーは、生育期間が短くても良好に開花できる草花を中心に、ミックスが構成されています。

一方冬期に積雪がない温暖な地域では、春播きの他に秋播きも可能です。秋播きでは霜が降りる約1ヶ月前までが播種適期となります。温暖地向けのスノーミックスフラワーは、春播き、秋播きの栽培条件を考慮した草種構成となっており、特に夏物語シリーズ(春播きで夏~秋開花のミックス)は、耐暑性の高い草花を中心にミックスが構成されています。

### 3) 雑草に負けない花畑を作るために

土の中には大量の雑草種子が眠っており、その数は㎡当り2万粒と計算されています。ミックスフラワーを播種する時には、土を耕し、施肥を行います



写真2 コスモス (一年草)



写真3 ヤグルマソウ（一年草）



写真4 ハナビシソウ（一年草）

表1 スノーミックスフラワーの栽培地域・用途による使い分け

適応地域	商品名	使用草種数	草丈 (cm)	播種期 (月)	開花期 (月)	標準播種量 (g/m <sup>2</sup> )	備 考
北海道・本州高冷地	スノーレインボー	宿根草6 一年草10	30~80	4~7	6~10	1.5~2.0	草丈高い
	レインボーカーペット	宿根草5 一年草12	15~40			2.0~3.0	カーペット状
	エレガンス	一年草12	40~80	4~6	7~10	1.5~2.0	草丈高い
	ファンタジー	一年草11	15~40				カーペット状
	コスモス スーパーグラデーション	一年草 ミックス	50~120				早生・中生・晩生ミックス
本州 温暖地	トールタイプ (春播き)	宿根草9 一年草7	60~120	3~6	4~10	2.3	草丈高い, 遠望タイプ
	トールタイプ (秋播き)	宿根草9 一年草7		9~10		3.1	
	ローアタイプ (春播き)	宿根草7 一年草10	30~60	3~6	9~10	2.2	草丈低い, 近望タイプ
	ローアタイプ (秋播き)	宿根草7 一年草9		1.8			
	ハイランドタイプ	宿根草6 一年草10	40~70	4~7 9~10	5~10	3.0	寒高冷地向け
	ポピュラータイプ	宿根草7 一年草9	60~120	3~6 9~10	4~10	2.2	安価で経済的
	カーペットタイプ	宿根草7 一年草7	20~40			1.2	カーペット状
	春物語エレガンス	一年草8	40~80	9~10	4~6	1.4	草丈高い, 秋播き一年草
	春物語ファンタジー	一年草10	20~40			2.2	カーペット状, 秋播き一年草
	春物語スタンダード	一年草7	40~80			1.2	安価, 草丈高い, 秋播き一年草
	夏物語エレガンス	一年草5	60~80	5~7	7~10	1.2	草丈高い, 春播き一年草, 耐暑性有り
	夏物語ファンタジー	一年草7	20~40			0.8	草丈低い, 春播き一年草, 耐暑性有り
	コスモス物語 カラフルミックス	一年草7	60~140			1.8	桃・赤系+黄・橙系ミックス
	コスモス物語 キバナミックス	一年草3				黄・橙系ミックス	
コスモス物語 ローズミックス	一年草4	桃・赤系ミックス					

注) スノーミックスフラワーの改良のため、構成草種や配合割合を変更することがあります。  
 オオキンケイギクは、平成18年より外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律）で規制の対象となりましたので、スノーミックスフラワーの構成草種から除外されました。



写真5 コマチソウ (一年草)



写真7 ノゴリソウ (宿根草)



写真6 ルドベキア (宿根草)



写真8 シクラメン ヘデリフォリウム (室内の花)

ので、常に発芽に適する環境を心待ちにしている雑草種子も一斉に発芽してきます。このため、雑草に負けてしまい、ミックスフラワーを上手に育てられないことがあります。ミックスフラワーを播種する前に、眠っている雑草種子を一度発芽させ、除草剤を散布するか、再び浅く耕して、土壌中の雑草種子を減らすことが有効です。また条播や帯条播で播種を行うと、除草作業を楽に行うことができます。

### 3 ガーデニングに使いたいお奨めの花壇苗

#### 1) シクラメン ヘデリフォリウム (写真8~10)

シクラメンは、花が少ない冬の季節に、華やかな花がとても印象的で、室内を彩るのに最も良く使われる鉢花ですが、近年は「寒さに強いガーデニングシクラメン」なるものを見かける様になりました。ミニシクラメンの改良種らしいのですが、実際の所は耐寒性が少し強い程度(5℃)であり、初霜に当たっても枯れない程度と考えられます。一方シクラメンの野生種シクラメン ヘデリフォリウムは、寒さに大変強く、札幌地方でも積雪下で十分越冬できるほどの耐寒性を備えています。



写真9 シクラメン ヘデリフォリウム (越夏後の花)

シクラメン ヘデリフォリウムは秋~冬咲きであり、春~夏に花壇に植えると札幌では9月から11月まで、関東では2月くらいまで、花を觀賞することができます。花色は白色とピンク色があります。開花後は春まで葉が残りますが、夏には一度葉を落とし、塊茎(球根)の状態越夏します。耐寒性は非常に優れますが、夏の暑さに弱いため、暑い地方では越夏できないことがあります。



写真10 シクラメン ヘデリフォリウム (越冬後の葉)



写真12 ユーフォルビア ポリクロマ



写真11 プリムラ ロゼア



写真13 アルメリア マリティマ

## 2) プリムラ ロゼア (写真11)

プリムラと言えば、春の代表的な花壇苗であるプリムラ ポリアンサや小型種であるプリムラ ジュリアン、室内で長期間鑑賞できるプリムラ オブコニカなどが有名ですが、日本古来の自生種とされているクリンソウ(プリムラ ジャポニカ)や今回ご紹介するプリムラ ロゼアもプリムラの仲間です。

プリムラ ロゼアは、春早くから咲き始める宿根草で、越冬中に既に花芽を形成し、雪が解けた4月中旬頃から咲きはじめます。花径は2.5cm程度で、鮮やかなピンク色の花を咲かせます。開花しながら花茎が伸び、2週間くらい咲き続け、最終的に30~50cm程度の丈になります。冬の寒さには非常に強いのですが、夏の暑さには少し弱いため、夏は半日陰となる涼しい場所で栽培します。毎年、徐々に株が育ちますので、2~3年周期で3~4株に株分けして苗を増やすことができます。

## 3) ユーフォルビア ポリクロマ (写真12)

冬の鉢物ではポインセチアがとても人気がありますが、ユーフォルビア ポリクロマもポインセチアと同じトウダイグサ科の植物です。苞の部分が黄色

く着色し、開花が終わっても黄色い苞が長く残るため、6月中旬から7月中旬まで長期に渡り楽しむことができます。草丈は50~60cmで、分枝も多く発生します。生育が旺盛で、株張りの良いものは60cmにも広がるボリューム感のある宿根草です。

## 4) アルメリア マリティマ (写真13)

別名ハマカンザシと呼ばれるイソマツ科の常緑の宿根草で、ロックガーデンや花壇の縁取りにも利用できます。細く長い葉を展開し、株は直径15~20cm程度の球状になります。花茎は20~30cmに伸び、6月上旬から7月中旬に、頂部に直径3cmほどの花を咲かせます。多湿により株が腐敗する場合がありますので、排水が良く、日当たりの良いところに植えつけます。大株になったら数年に1回、株分けして増やすことができますが、分けた株全てに直根の一部が付くように注意して株分けします。